

広域ドッチビーコンペティション 第5回関東大会 2019 の

開催有無についてのご説明

令和2年3月3日 発表
一般社団法人日本ドッチビー協会
代表理事 稲垣 敬雄

関係各位

新型コロナウイルス感染拡大の予防観点から表記大会の実施に関しましては多くの皆さまが気にかけていらっしゃるかと存じますが主催者として判断の基とした情報の報告とともに、開催有無の結論を発表いたします。

【大会会場状況】

会場である東京武道館の3/2時点での状況をお伝えしますと館内併設のトレーニングルームは3月15日までクローズ、その他武道場は通常通り、開館中です。

東京武道館における他団体の大会開催状況について確認したところ、3/15以前はほぼ全ての大会がキャンセルされた。とのことでした。

3/15柔道、3/17卓球は実施。3/21空手は中止。とのことでした。

施設の管轄は東京都となっており、都の決定による今後の全館閉鎖が決定された場合を除き、実施については現在、**大会主催者の判断**になるとのことでした。

中止した場合の使用料の支払いは東京都管掌部局の判断待ちとのことでした。

【大会申込状況】

参加募集は1月16日より開始、3月1日に締切りました。口頭にて参加意思の表明をいただいていたが検討の結果、自主的に参加辞退をなさったことが把握できた例が少なくとも17チーム(海外より遠征含む)ありました。最終的に申込用紙が届きました集計では、**18チーム234名の申込み**という結果になりました。

【大会募集要項による部門成立について】

募集要項の5ページ記載の通り、4チーム以上のエントリーがある場合、部門成立としましたが、全18チームの内訳は以下の通りで**成立は2部門**となりました。

小学校低学年 — 3チーム不成立 小学校高学年 — 9チーム成立

中学・高校生 — 1チーム不成立 オープン — 4チーム成立

ユニファイド — 1チーム不成立

【結 論】

選手およびに保護者等、さらに少なくない数の協力スタッフならびに後援、協賛先関係者様も含めた皆さまに理解される結論は何なのか、今現在も本当に悩ましい状況ですが、上記の各方面からの状況、および社会情勢も含めて判断しましたが結果、**誠に残念ではありますが今大会の実施は中止することに決定いたしました。**